

神経・筋肉生理学

学術論文

- 1) Huang J, Hamasaki T, Ozoe F, Ohta H, Enomoto K, Kataoka H, Sawa Y, Hirota A, Ozoe Y: Identification of critical structural determinants responsible for octopamine binding to the α -adrenergic-like *Bombyx mori* octopamine receptor. *Biochemistry* 46: 5896-5903, 2007
- 2) Hama N, Tsuchida Y, Takahata M: Behavioral context-dependent modulation of descending statocyst pathways during free walking, as revealed by optical telemetry in crayfish. *The Journal of Experimental Biology* 210: 2199-2211, 2007
- 3) Ito S, Craig AD: Striatal projections of the vagal-responsive region of the thalamic parafascicular nucleus in macaque monkeys. *The Journal of Comparative Neurology* 506: 301-327, 2008
- 4) Newland PL, Hunt E, Sharkh SM, Hama N, Takahata M, Jackson CW: Static electric field detection and behavioural avoidance in cockroaches. *The Journal of Experimental Biology* 211: 3682-3690, 2008
- 5) 伊藤眞一, 濱 德行, 吉田勇氣, 藤田恭介, 廣田秋彦: 酸化亜鉛薄膜を用いた動物実験用透明電極の開発. *S - ナノ報告書* 22-27, 2008

学会発表

- 1) 廣田秋彦, 伊藤眞一: 光ファイバー励起によるラット大脳皮質感覚運動野自発興奮の光学的多部位同時記録システム. 第 84 回日本生理学会大会. 大阪, 2007 年 3 月
- 2) 伊藤眞一: ヒト中心溝吻腹側の痛覚関連野に対応するラット皮質領野の検索. 文部科学省特定領域研究「統合脳」夏のワークショップ合同班会議統合シンポジウムサテライトシンポジウム. 札幌, 2007 年 8 月
- 3) 廣田秋彦, 吉田勇氣, 藤田恭久, 伊藤眞一: ラット大脳皮質の光学的膜電位多部位記録測定領野内からの脳波測定を目的とした透明電極の開発. *Neuro2007* (第 30 回日本神経科学大会, 第 50 回日本神経化学会大会, 第 17 回日本神経回路学会大会合同大会). 横浜, 2007 年 9 月
- 4) 廣田秋彦, 吉田勇氣, 濱 德行, 藤田恭久, 平川正人, 伊藤眞一: 新しく開発した透明電極を用いた膜電位光学的多部位同時記録測定領野内からの脳波測定. 第 59 回日本生理学会中国四国地方会. 徳島, 2007 年 11 月

- 5) Ito S, Craig AD: Afferent projections to the vagus-responsive region of the thalamic parafascicular nucleus in monkeys. Society for Neuroscience Meeting. San Diego, November 2007
- 6) 廣田秋彦：光学的膜電位多部位同時測定法を用いた動物実験による薬剤の機能面からの評価システム：ラット大脳皮質へのバクロフェン投与による評価システムの検証 .重点研究プロジェクト研究成果報告会-健康長寿社会を創出するための医工農連携プロジェクト．出雲，2007年12月
- 7) 伊藤真一：ヒト中心溝吻腹側の痛覚関連野に対応するラット皮質領野の検索．文部科学省特定領域研究「統合脳」冬の公開シンポジウム合同領域班会議．東京，2007年12月
- 8) 伊藤真一，濱 徳行，廣田秋彦：酸化亜鉛薄膜を用いた動物実験用透明電極の開発．ナノテク研究会-ナノテクプロジェクト3年間の成果と今後の展望．松江，2008年3月
- 9) 伊藤真一：大脳皮質および大脳基底核への内臓感覚入力．第85回日本生理学会大会．東京，2008年3月
- 10) 伊藤真一，A D クレイグ：サル視床束傍核の迷走神経刺激応答部位に投射する脳幹および小脳のニューロン分布．第85回日本生理学会大会．東京，2008年3月
- 11) 濱 徳行，伊藤真一，吉田勇氣，藤田恭久，廣田秋彦：ラット大脳皮質における光学的測定領野内からの脳波記録を目的とした凹面状透明電極の開発．第85回日本生理学会大会．東京，2008年3月
- 12) Ito S：Vagal visceral sensory input to basal ganglia. 第10回日本国際消化管運動研究会．福岡，2008年5月
- 13) 濱 徳行，伊藤真一，廣田秋彦：光学的膜電位測定法を用いたラット感覚運動野における感覚応答の時空間パターンの解析 .第31回日本神経科学大会．東京，2008年7月
- 14) 濱 徳行，吉田勇氣，藤田恭久，伊藤真一，廣田秋彦：加算処理が不要な光学的膜電位多部位同時測定システムを用いたラット大脳運動感覚野における神経活動の時空間パターンの解析 .第60回日本生理学会中国四国地方会．松山，2008年11月
- 15) Ito S, Craig AD: Thalamocortical projections of the vagus-responsive region of the basal part of the ventral medial nucleus in monkeys. Society for Neuroscience Meeting. Washington, DC, November 2008
- 16) 廣田秋彦：脳機能イメージングに新たな道を拓く、立体形状をした多点透明電極の開発．山陰(鳥取・島根)発新技術説明会．東京，2008年12月

